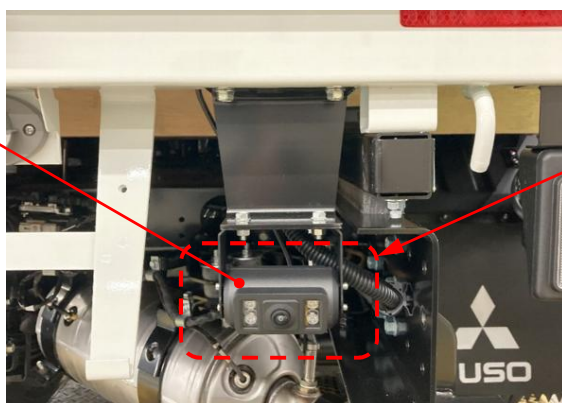


改善箇所説明図



リヤビューカメラ



基準不適合発生箇所

車両後方視

リヤビューカメラにおいて、ソフトウェアが不適切なため、当該カメラ起動時に内部データが破損して映像信号を正常に出力できないことがある。そのため、後退時にリヤビューモニターに車両後方の映像が映らず、保安基準に適合しない。

改善措置の内容

全車両、リヤビューカメラのシリアルナンバーを確認し、不具合品が装着されていた場合は対策品に交換する。なお、取り付け角度に調整が必要な場合は調整を行う。

注：□ は不具合部品を示す。

識別：作業完了車は、弊社のインターネットホームページのリコール等対象検索に“実施済”と表示する。